

うっしっしいー情報2014

7月市



豊岡農業改良普及センター

7月9日に行われましたセリ市全体の平均価格は、去勢が68万2千円、雌が59万でした。

普及センター調べ（税込価格）

（本人落としも含むため、JA公表数値とは異なります）

地域	去勢			雌			総計	
	頭数	DG	平均価格	頭数	DG	平均価格	頭数	平均価格
宍粟・佐用	17	0.964	656,576	13	0.863	587,188	30	626,508
篠山	8	1.028	675,945	5	0.842	566,784	13	633,960
丹波	32	0.976	679,590	23	0.878	596,254	55	644,740
朝来	6	0.936	713,160	7	0.813	575,331	13	638,945
播磨	18	0.963	666,240	20	0.848	587,196	38	624,638
美方郡	62	0.965	694,405	46	0.828	597,991	108	653,340
豊岡	14	0.982	686,726	11	0.831	577,015	25	638,453
養父	14	1.048	679,474	5	0.847	578,448	19	652,888
摂津・神戸	3	0.957	680,040	3	0.819	602,640	6	641,340
県北C	5	0.847	668,304	2	0.769	558,360	7	636,891
市場全体	182	0.971	681,628	136	0.844	590,307	318	642,573

7月市種雄牛ランキング

順位	種雄牛	去勢			雌			総計	
		頭数	平均DG	平均価格	頭数	平均DG	平均価格	頭数	平均価格
1	丸宮土井	26	0.967	704,617	12	0.846	627,030	38	680,116
2	芳山土井	34	0.968	691,073	19	0.831	619,579	53	665,443
3	照忠土井	19	0.965	678,126	16	0.832	609,053	35	646,550
4	芳悠土井	18	0.987	691,860	20	0.852	602,262	38	644,703
	総計	182	0.971	681,628	136	0.844	590,307	318	642,573
5	福芳土井	28	1.016	674,614	31	0.891	592,049	59	631,233
6	千代藤土井	12	0.976	674,190	10	0.836	574,020	22	628,658
7	丸富土井	35	0.940	670,742	19	0.791	544,547	54	626,340

価格は税込み (10頭以上の出荷があった種雄牛のみ記載)

ランキング種雄牛の育種価

	種雄牛	枝肉重量	ロス芯面積	バラの厚さ	皮下脂肪厚	歩留	脂肪交雑
1	丸宮土井	B	B	A+	A++	A+	A++
2	芳山土井	A++	A++ → A+++	A+++	D → C	A+ → A++	A+++ → A++
3	照忠土井	B	A++	B	A+	A++	A+
4	芳悠土井	A+	A	A+	B → A	A	A+++
5	福芳土井	A++	B	A++	C	C	A+ → A
6	千代藤土井	B	A++	D	A	A+	A+++
7	丸富土井	A	A++	C	C	A	A++

北部農業技術センター提供 (育種価評価は平成26年01月現在)

今回の裏面は、「兵庫県肉用牛振興ビジョン」の要約版です。
 前回、平成12年3月に作成され、14年ぶりに改正されました。今後10年間の但馬牛振興
 施策の基本となります。詳細版は兵庫県ホームページをご覧ください。

ホームページアドレス: <http://web.pref.hyogo.jp/nk13/niku-vision.html>

兵庫県肉用牛振興ビジョン（平成26年4月策定）の概要

I 肉用牛改良

主な方策	現状と方向性																													
<p>① 目標値の見直し [枝肉重量 400→450kg]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・美味しさと肉質は維持しつつ、増体性向上を図る改良を推進し、枝肉重量は450kgを目指す 	<p>○ 枝肉重量 現状 405kg を平成 35 年度に 450kg に向上</p>																													
<p>② 種雄牛を口蹄疫等から守る防疫体制</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感染リスクが低い北部農技中心に種雄牛を配置換え <p>○ 周辺に牛飼育農家が多い畜産技術センターよりも、周辺に牛飼育農家が少ない北部農業技術センターに配置</p> <p>○ 口蹄疫ウイルスの増幅動物である豚を飼育し、リスクが高い畜産技術センターよりも、牛のみを飼育する北部農業技術センターに配置</p>	<p>○ 種雄牛の配置を北部農技中心にシフト</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="2">現状</th> <th colspan="2">変更案</th> </tr> <tr> <th>畜技</th> <th>北技</th> <th>畜技</th> <th>北技</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基幹種雄牛</td> <td>9</td> <td>3</td> <td>※3</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>待機種雄牛</td> <td>24</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>24</td> </tr> <tr> <td>候補雄子牛</td> <td>-</td> <td>38</td> <td>-</td> <td>38</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>33</td> <td>45</td> <td>7</td> <td>71</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 万が一を考え、畜産技術センターに中土井系、城崎系、熊波系の基幹種雄牛を1頭ずつ配置</p>	区分	現状		変更案		畜技	北技	畜技	北技	基幹種雄牛	9	3	※3	9	待機種雄牛	24	4	4	24	候補雄子牛	-	38	-	38	計	33	45	7	71
区分	現状		変更案																											
	畜技	北技	畜技	北技																										
基幹種雄牛	9	3	※3	9																										
待機種雄牛	24	4	4	24																										
候補雄子牛	-	38	-	38																										
計	33	45	7	71																										

III 生産基盤強化

主な方策	現状と方向性
<p>① 大規模経営など健全な畜産農家の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・牛舎整備や繁殖雌牛導入支援による増頭対策の継続 	<p>○ 大規模経営育成と新規参入促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・繁殖肥育一貫経営や飼育規模 50 頭以上の大規模経営育成 ・酪農からの経営転換 ・建築業者等の異業種からの新規参入 等
<p>② 需要拡大に必要な供給量の確保</p> <p>[神戸ビーフ供給量:現状 3,948→6,000 頭]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・乳用牛への但馬牛受精卵移植による但馬牛生産体制の確立 	<p>○ 乳用牛への但馬牛受精卵移植による供給力強化</p> <p>※乳用牛が生乳を生産するためには定期的な妊娠、出産が必要</p>
<p>③ ゆとりある生活と魅力ある肉用牛経営の実現</p> <ul style="list-style-type: none"> ・牛の預かりや飼育技術研修等を行う繁殖経営支援センターを但馬、淡路などの繁殖地域で整備 ・専門家のもとで適切な管理を行い、増頭や高齢化に伴う飼育管理の省力化を図る体制を構築 	<p>○ 但馬牛繁殖経営支援センター</p>

II 品質向上

主な方策	現状と方向性
<p>① 新たな美味しさ指標の開発と科学的根拠に基づく消費者等への普及</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ロース断面の画像解析による小ザシ*密度と美味しさの相関、その指標化 * 0.01~0.05cm²のきめ細やかな脂肪粒子 ・美味しさ指標のモノ不飽和脂肪酸**割合の食肉卸売市場及び小売店での表示販売 ** 脂肪に含まれる成分で、香りの良さと相関する。 	<p>○ ロース断面の小ザシ評価とモノ不飽和脂肪酸</p> <p>どちらもBMS値9</p>
<p>② 神戸ビーフ認定率 70%の達成 [現状 57→70%]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・雌牛肥育技術も加えた但馬牛肥育マニュアルの普及定着 <p>■ 配合飼料</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 9~14カ月齢: 筋肉・骨格をつくるため、トウモロコシや大豆粕主体の高蛋白、低カロリー飼料 ○ 23~30カ月齢: 脂肪をつけるため、大麦等を増やした高カロリー飼料 <p>※筋肉内に脂肪が入りやすくするため、月齢に応じてビタミンAをコントロールすることが重要</p>	<p>○ 神戸ビーフ認定頭数と認定率の推移</p>

IV 需要拡大

主な方策	現状と方向性
<p>① 取扱店の首都圏展開と神戸ビーフの更なる需要拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> ・首都圏への神戸ビーフ旗艦店の出店、新規取り扱い促進プロモーションによる取扱店舗数の拡大 [取扱店数:現状 235 店舗(国内 221、海外 14)] ・海外クルーズ 船や高級ホテルと提携した観光客への供給拡大 	<p>○ プロモーション活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・首都圏、海外におけるプロモーション活動による神戸ビーフのPR強化
<p>② 増加するニーズに対応した定時・定量の輸出体制の整備</p> <p>[現状 5→16 カ国]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ロイン系*以外の部位**の食べ方提案等のプロモーション活動 <p>* リブロース、サーロイン、テンダーロイン ** モモ、バラ、肩 等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・輸出対応施設整備について、食肉業界等の意見を聞きながら検討 	<p>○ 輸出国</p> <p>【H25 年度】 5カ国 マカオ、香港、米国、タイ、シンガポール</p> <p>↓</p> <p>【H35 年度】 16カ国</p> <p><想定される国・地域> マカオ、香港、米国、タイ、シンガポール、フランス、モロコシ、イタリア、オランダ、UAE、マレーシア、ロシア、インドネシア、サウジアラビア、ドイツ、スウェーデン</p>